

1 年 1 組 理 科 学 習 指 導 案

指導者 小玉和彦
石川央季

- 1 題材 「身の回りの現象 ～音の世界～」
- 2 ねらい 自分で作った手作り楽器の音階を調整する。
- 3 展開（100分授業）

時間	生徒の学習活動	教師の活動（主な発問，指示など）
1	1 教育センターの先生とあいさつする。	1 センター指導主事を紹介する。 ここで自己紹介していただきたい。
3	2 吹奏楽部員が自分の担当する楽器で音を出し，波形を確認する。	2 マイクを楽器に近づける。 音をひろって波形を大きく映していただきたい。
4	3 TV画面を通して波形から何が分かるのか説明を聞く。	3 黒板に波形の図を書き，ポイントを明確にする。 振幅と振動数について説明していただきたい。
2	4 今日の学習の流れを聞く。	4 学習場所と流れを説明する。
60	5 音階調整コーナーと楽器製作コーナーに分かれ，各自の計画に基づいて学習を進める。	5 楽器製作コーナーで製作について助言する。 音階調整コーナーで手作り楽器の波形をとり，音階について助言していただきたい。
1	6 次時の予定を聞く。	6 演奏会を行い，センターの先生に審査員をお願いすることを伝える。
1	7 教育センターの先生とあいさつをする。	
23	8 学習の続きを行う。	
5	9 自己評価を行う。	

本校は2学期制であり，長期休業中も学習は継続していると考えております。「音の世界」は夏季休業前に手作り楽器の音階を調整し，夏季休業中に楽器を完成させ，夏季休業明けに演奏会を行う計画であり，継続学習としての取り組みでもあります。今回の授業も来月の演奏会もよろしく願いいたします。